

# 社会福祉法人 駒どり

## 介護の質向上を目指して

### 認知症ケア学習会

介護の質向上をめざして今年度は認知症ケア学習会と事例研究会に取り組んでいます。

認知症ケア「ユマニチュードをまなぶ」学習会は昨年度1回行いました。ユマニチュードとは、「人間らしくある」ということ。人として尊重され、ケアを受ける人とケアをする人の双方が良かったと感じられるケアの実施をめざしていきたいと、この学習会に臨みました。1度きりでは職場での



実践に繋がっていくと感じました。職場で多くの職員が

同じ技法を学び実践していくことが大切と感じました。そこで今年度は4回企画し進めてきました。これまで3回実施し、85名が学習会に参加しました。DVDを見たり、実際の技法を少しロールプレイすることで、利用者様の気持ちが分かったり、これまでの介護を振り返る機会となりました。「明日からのケアに生かしたい」という感想が多く聞かれ、今後が楽しみです。



毎年行っている事例研究会、今年度は平日2回開催に取り組んでいます。10月10日に特養『駒どりの郷』にて56名参加で今年度第1回を開催しました。4演題の発表に関してグループ討議、全体の意見交換を行い活発に交流しました。法人は事業所、職員ともに増えました。研修やケアの交流の機会を積極的に取り組んでいきたいと考えています。

(白川台会館 平尾輝子)

## 健康づくりを通じて組織強化を 生協強化月間スタート集会

### 神戸 医療生協



講演は福岡みらいクリニックの今井一彰先生の「あいうべ体操で息育、元気生活！」です。鼻呼吸を日本の文化にすることが夢だと

語られる先生の話は最初から会場の参加者をグッと引きつける内容で大爆笑の渦の中、楽しく鼻呼吸の大切さと「あいうべ体操」の効果について学ぶことができました。講演後途切れることなく質問が続き、最後に伊藤組織委員長より健康づくりを通じて組織を「強く、大きく、たくましく」しよう

10月1日(日)神戸ポートピアホテルにて、生協強化月間スタート集会を開催しました。参加者は509名(組合員341名、職員119名、一般49名)でした。

開会宣言の後、井上専務の挨拶では医療生協の歩んできた歴史から今の情勢までわかりやすく報告がありました。

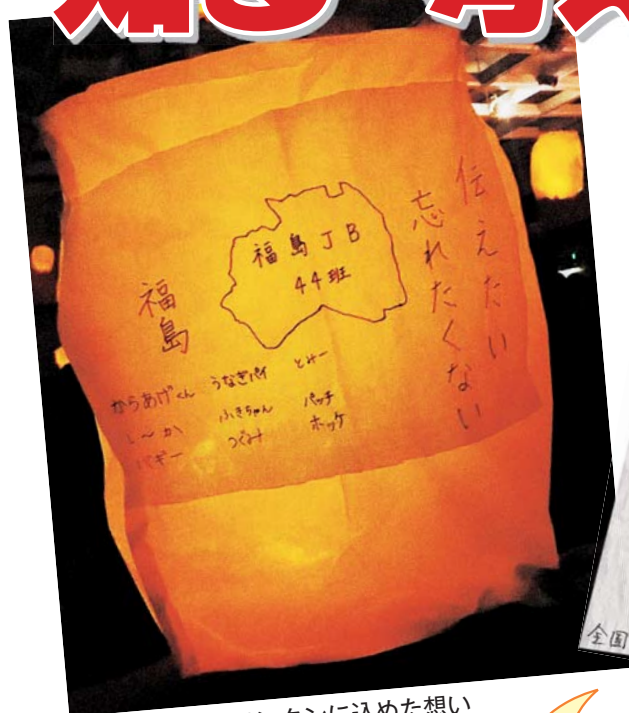


と強化月間の訴えがあり盛り上がりの中集会を終えました。終了後、会場の外では今井先生の書籍を求め人であふれ、参加された方は大満足で会場を後にされました。月間では参加された方を中心に班や地域で「あいうべ体操」を実践する人や新たに健康チャレンジに登録する人も増え、大きな運動の拡がりを見せています。

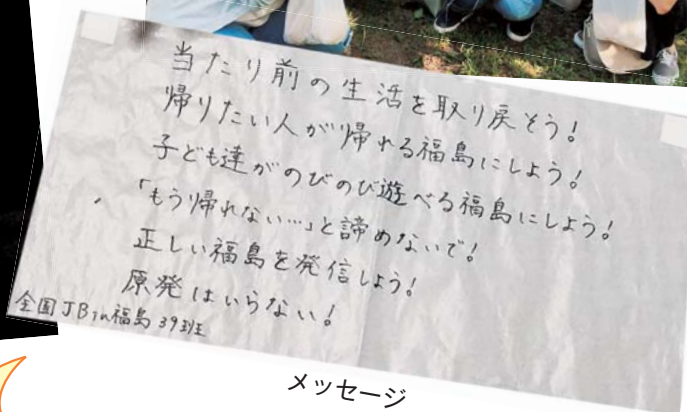
(本部 後藤由紀子)

## 明日の民医連を担う青年職員

# 知る・考える・伝える



ランタンに込めた想い



メッセージ

### 全国ジャンボリー in 福島

福島県で行われた全国ジャンボリーでは、6年前に発生した福島第一原発事故による影響についてのフィールドワークなどの学びとともに、多職種の青年職員が本音で語り交流しました。

### 新入職員

### フォローアップ研修

入職から半年が経った新入職員が、印象に残った体験や仕事を通して気付いた事などをまとめた新聞記事を作成して共有しました。

